

1. 調査概要

1) 調査背景と目的

横手市は、秋田県の南部に位置し、東の奥羽山脈、西の出羽丘陵に囲まれた横手盆地に位置しており、旧横手市・旧増田町・旧平鹿町・旧雄物川町・旧大森町・旧十文字町・旧大雄村・旧山内村の1市・5町・2村が合併し平成17年に誕生した。

横手市の「新市建設計画」の基本方針の中では、「工業振興拠点地区及び8つのまちづくりの拠点地区を設定し、ゾーン間の交流・連携を図り、総合的・一体的なまちづくりを進める。」と唱われている。更に、この中で、「拠点地区間において親密で活発な地域交流が行われ、さらに広域交流の進展につながるよう交流の連携軸を設定し、その動脈となる基幹道路の整備にあたり、関連する生活道路等の改良充実に努める。」と唱われており、都市計画道路の整備や主要な市道の整備の推進等があげられている。

しかし、一方では、乗降客数の減少によるバス路線の廃止など、高齢化社会において交流の妨げとなる問題も生じてきている。

また、これまで総合交通体系計画が策定された場合、事業が進展し具体化すると、事業時期等が事業者独自の判断で行われ、総合性が損なわれる構造となっていたことで、地域にとって必ずしも最良の事業展開が行われていたとは言い難いところがあった。

本業務は、以上を背景に、横手市の将来交通計画の目標を実現するため、交通政策のビジョンと取組むべき具体的な行動計画を策定することを目的としている。

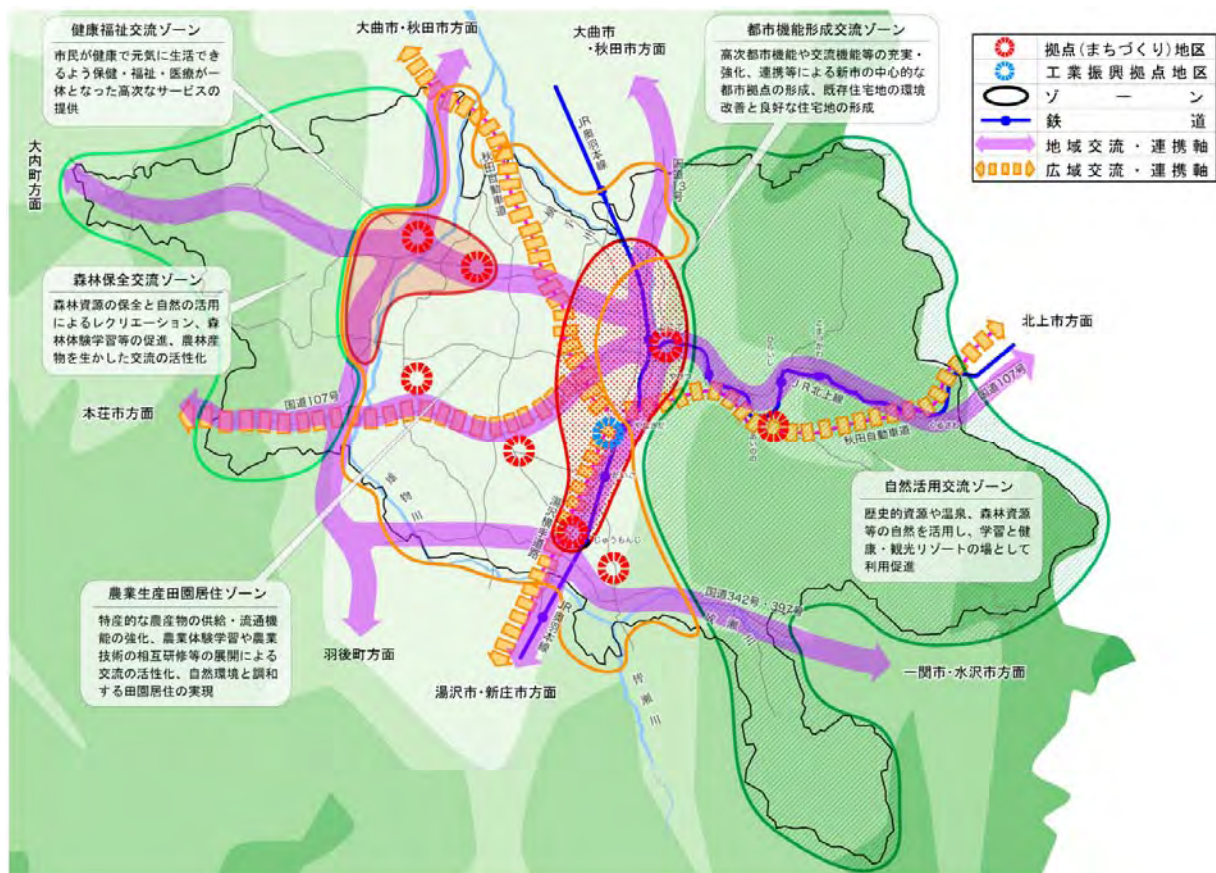


図 1-1 まちづくりのゾーニング図

出典:新市建設計画

2) 調査の全体構成

本調査全体の主要検討項目、及び、調査手順は以下に示すとおりである。

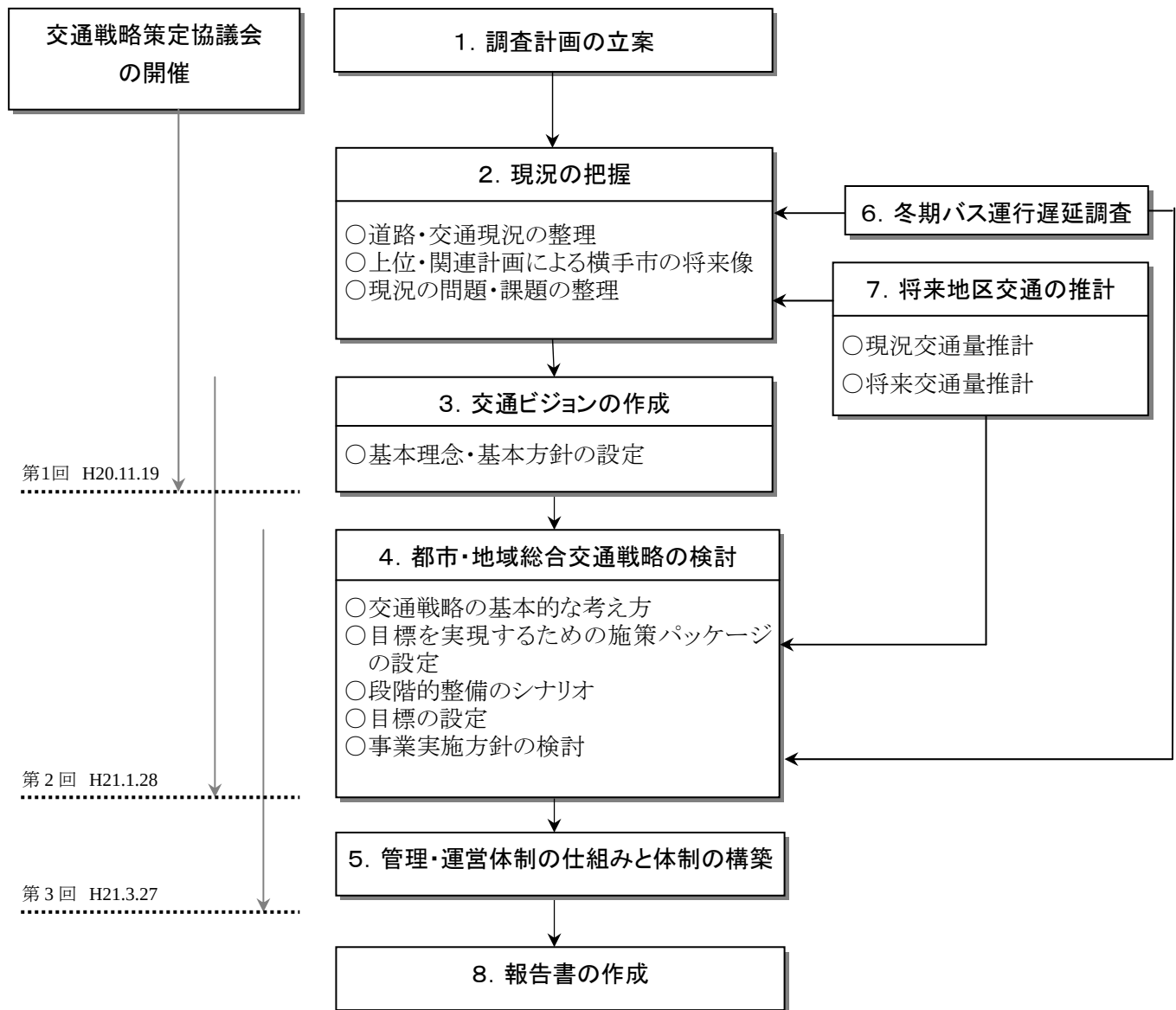
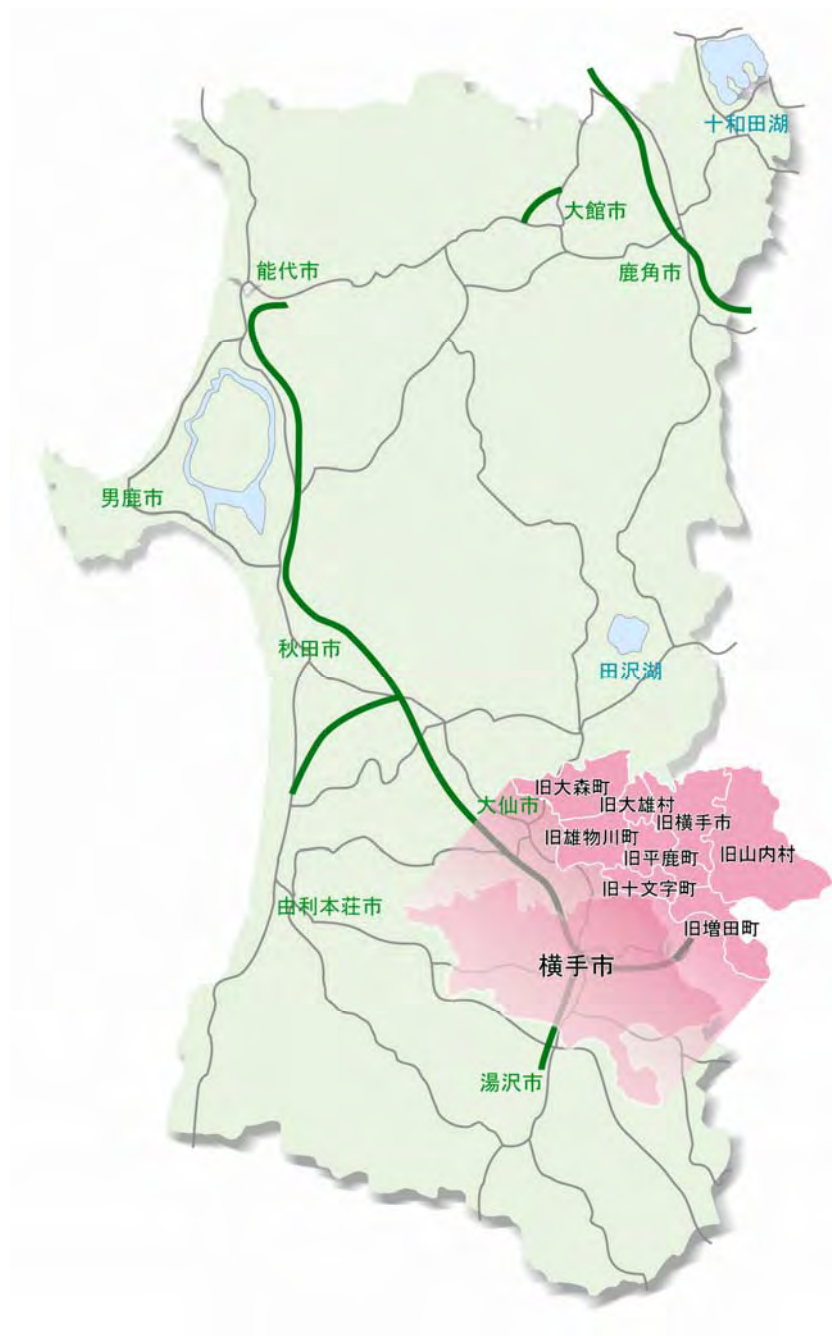


図 1-2 調査の全体構成

3) 調査対象地域

本調査の対象地域は、基本的には横手市全域とし、交通戦略プロジェクト策定時は、「横手市全域」、「中心市街地」（「人口集中地区(DID 地区)」周辺）の2つのスケールで検討することとする。



《中心市街地（人口集中地区(DID 地区)）》



4.01k m² 14,469 人 H17 国勢調査

分	総人口	男	女	世帯
横手	39,002	18,557	20,445	14,400
増田	8,449	4,037	4,412	2,676
平鹿	14,299	6,842	7,457	4,106
雄物川	10,881	5,205	5,676	3,081
大森	7,409	3,447	3,962	2,286
十文字	14,091	6,708	7,383	4,495
山内	4,215	1,994	2,221	1,283
大雄	5,581	2,675	2,906	1,586
合計	103,927	49,465	54,462	33,913

資料：住民基本台帳
平成20年2月29日現在

図 1-3 調査対象地域

4) 本調査の位置付け

本調査では、「横手市総合計画」、「横手市都市計画マスタープラン」等の上位・関連計画をフルに活用し、横手市都市・地域総合交通戦略を策定することとする。

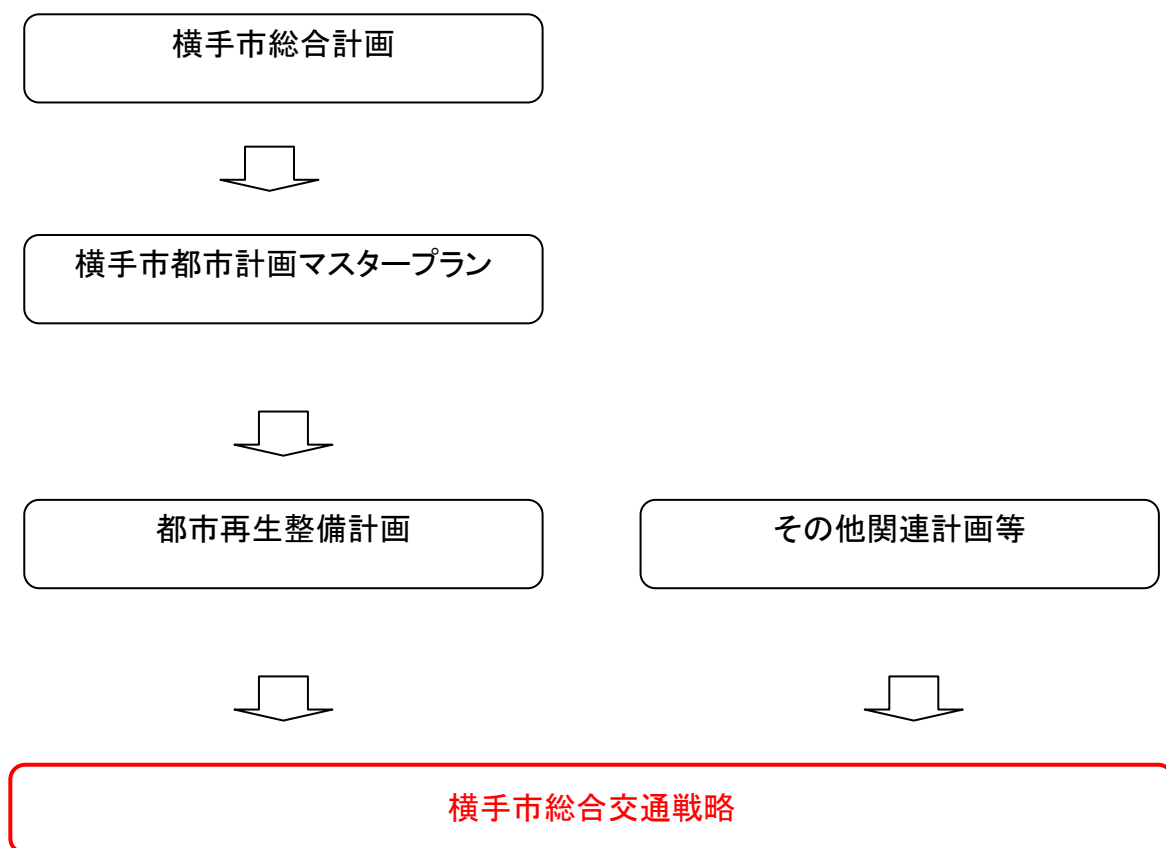


図 1-4 横手市総合交通戦略の位置付け

2. 現況の把握

2-1 地域の現況

1) 地理的条件

- ◆ 横手市は、秋田県の南東部に位置し、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれた横手盆地にある。
- ◆ 横手市は、旧横手市・旧増田町・旧平鹿町・旧雄物川町・旧大森町・旧十文字町、旧大雄村・旧山内村の1市・5町・2村が合併し、平成17年10月に誕生した。

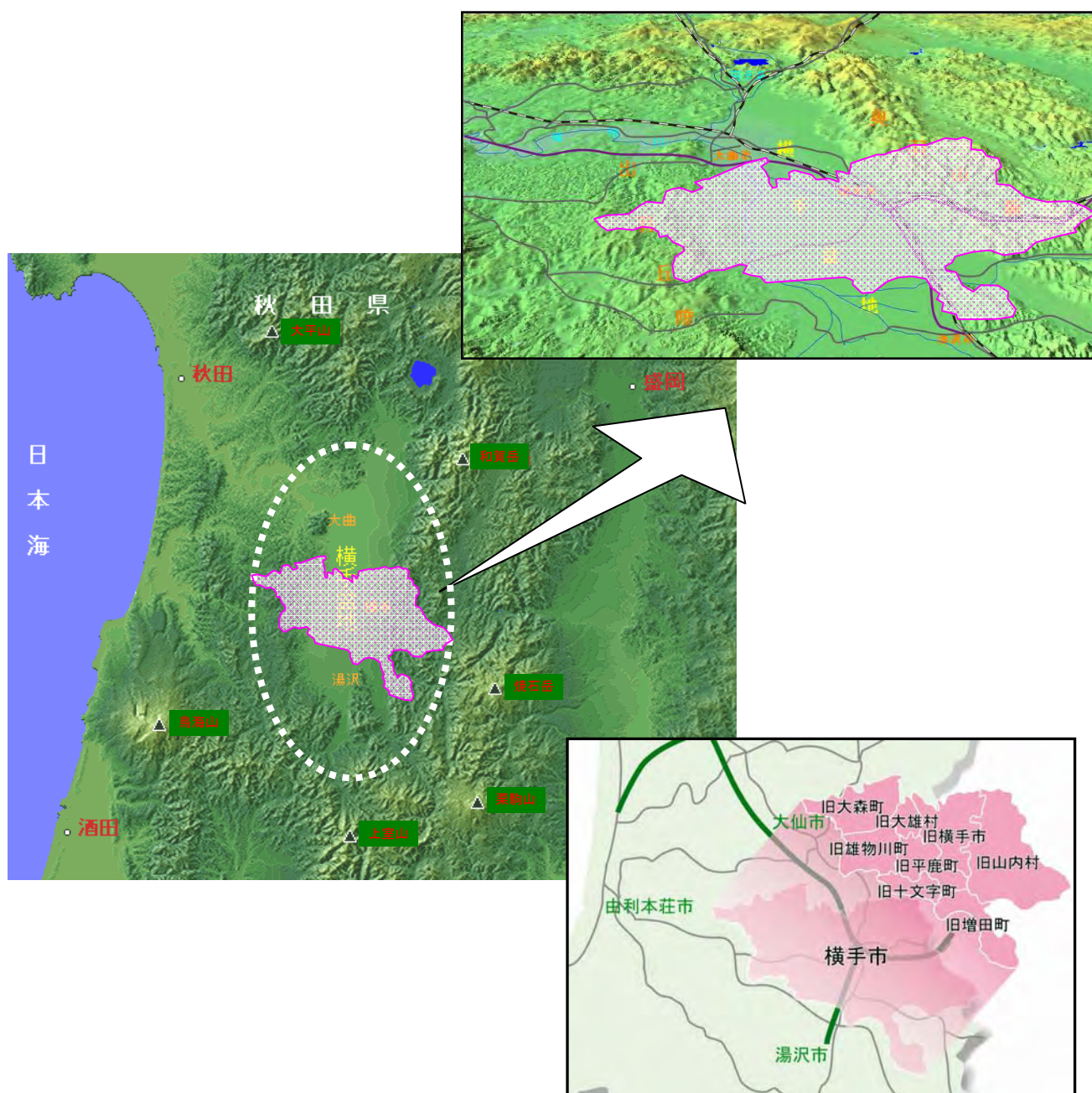


図 2-1 横手市概要図

2) 気象

◆ 横手市は、県内有数の豪雪地帯であり、一部地域は特別豪雪地域に指定されている。

(1) 地域指定状況

・横手市の一部地域は、特別豪雪地域に指定されている。

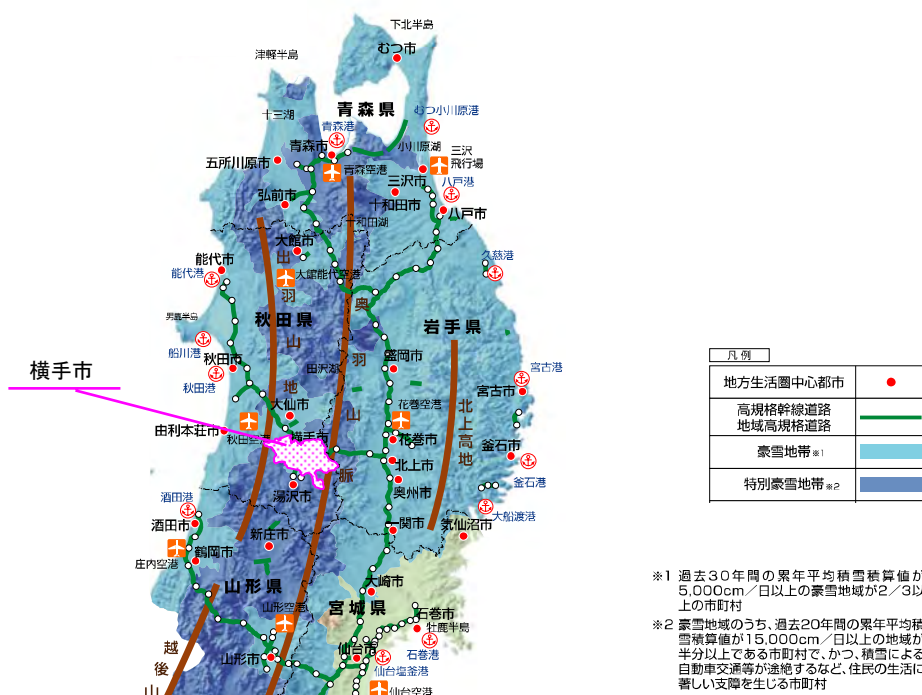


図 2-2 豪雪・特別豪雪地域

(2) 積雪の状況

・横手市の最深積雪量は、秋田県平均を上回っている。

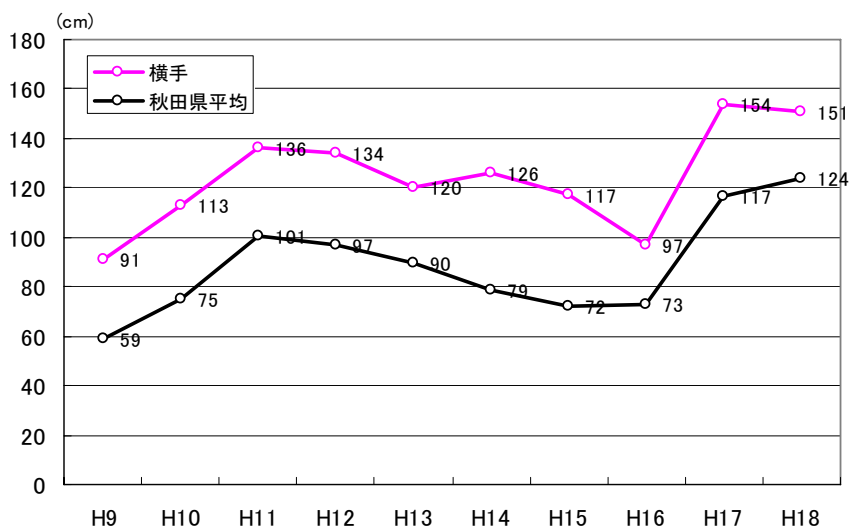


図 2-3 最深積雪の推移

資料: 気象庁

※秋田県平均は秋田県内の積雪観測地(13地点)の平均

3) 人口

- ◆横手市の人口は減少傾向にあるとともに、65 歳以上の人口の割合が高くなっている。
- ◆将来においては、この傾向が顕著に現れている。

(1) 人口

- ・横手市の人口は 10 万人を超えているが減少傾向にあり、平成 12 年から平成 17 年の5年間で約 5 千人減少している。
- ・また、平成2年から平成 17 年の人口の伸び率は 0.90 となっており、秋田県の 0.93 を下回っている。

表 2-1 人口の推移

	H2	H7	H12	H17
市全域	115,761	112,600	109,004	103,652
横手	42,294	41,462	40,521	
増田	9,869	9,516	9,099	
平鹿	16,119	15,545	14,941	
雄物川	12,470	12,054	11,300	
大森	8,644	8,371	8,103	
十文字	14,965	14,703	14,517	
山内	5,129	4,841	4,659	
大雄	6,271	6,108	5,864	

単位: 人

資料: 各年国勢調査

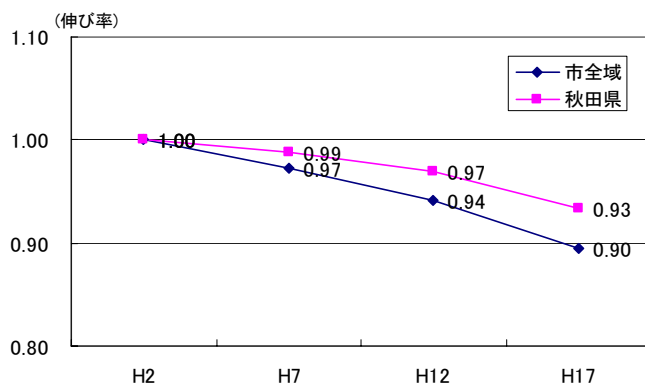


図 2-4 人口の伸び率

※平成 2 年を 1.0 としている

資料: 各年国勢調査

(2) 年齢別人口

- ・横手市の年齢別人口の割合をみると、65 歳以上のシェアが年々増加しており、平成 17 年では 29.4%と秋田県の 26.9%を 2.5 ポイント上回っている。

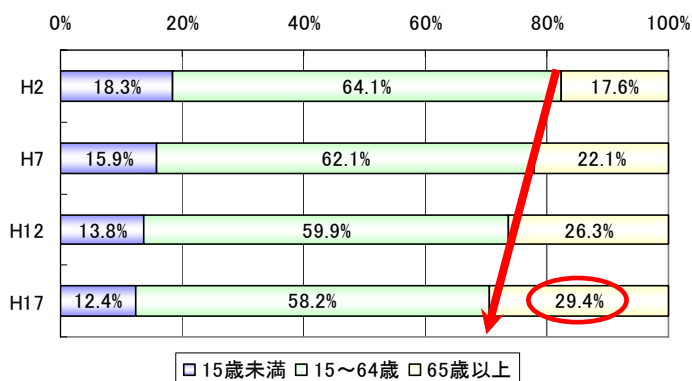


図 2-5 年齢別人口の割合(横手市)

資料: 各年国勢調査

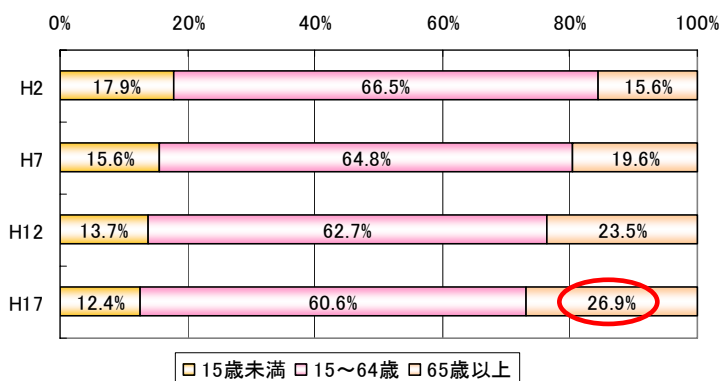


図 2-6 年齢別人口の割合(秋田県)

資料: 各年国勢調査

(3) 将来人口

・横手市の人口は、将来、減少すると推計されており、平成 47 年には 66 千人となっている。

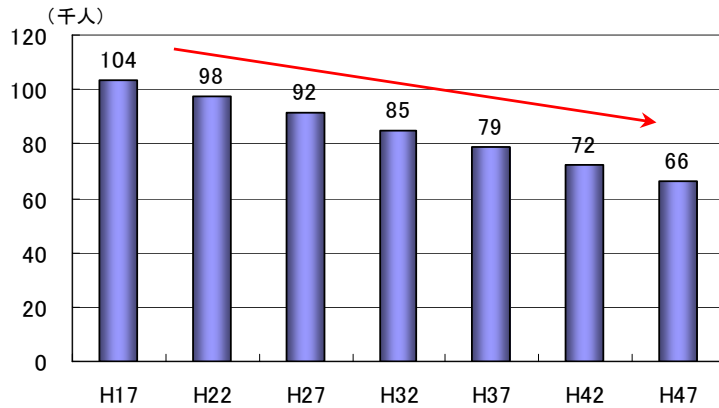


図 2-7 将来年齢別人口(横手市)

資料:国立社会保障 人口問題研究所
平成 20 年 12 月推計

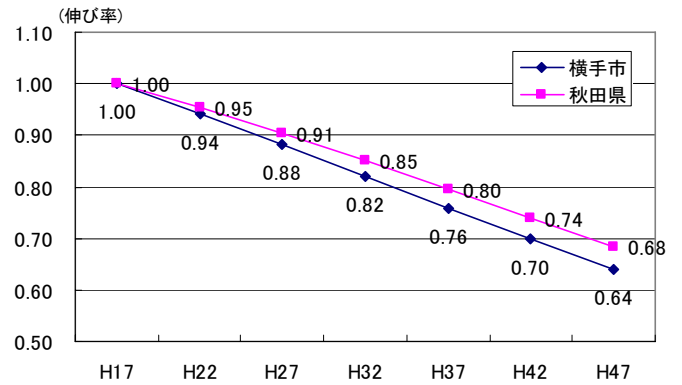


図 2-8 将来年齢別人口の伸び率

資料:国立社会保障 人口問題研究所
秋田県は平成 19 年 5 月推計
横手市は平成 20 年 12 月推計

(4) 将来年齢別人口

・横手市の将来年齢別人口の割合をみると、65 歳以上のシェアが年々増加しており、平成 37 年以降は 40%を越えると推計されている。

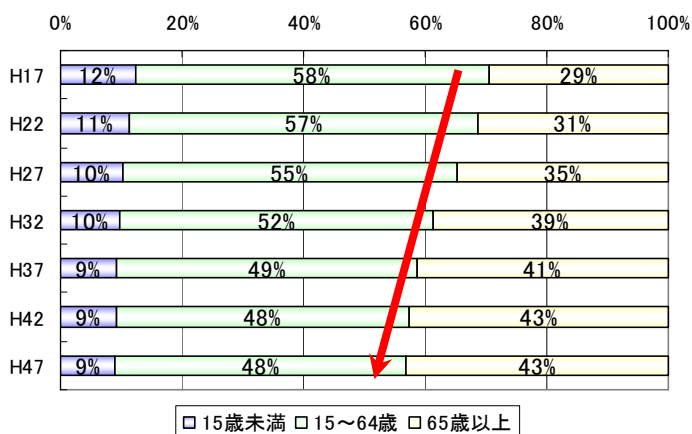


図 2-9 将来年齢別人口の割合(横手市)

資料:国立社会保障 人口問題研究所
平成 20 年 12 月推計

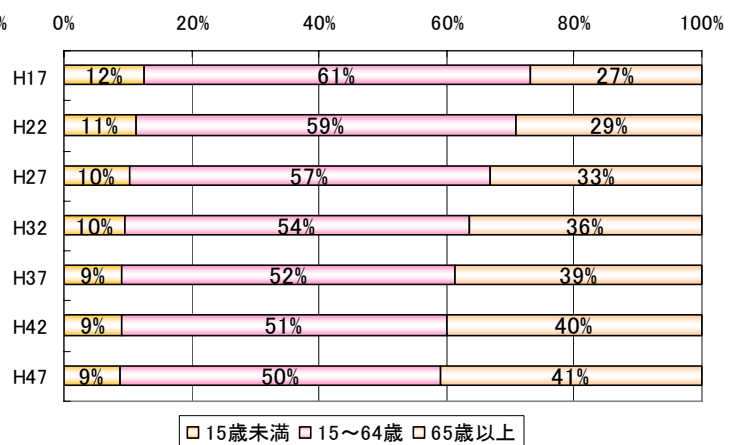


図 2-10 将来年齢別人口の割合(秋田県)

資料:国立社会保障 人口問題研究所
平成 19 年 5 月推計